
大人のための異文童話集1 あかずきんと狼

天野久遠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大人のための異文童話集1 あかずきんと狼

【Nコード】

N9361L

【作者名】

天野久遠

【あらすじ】

あかずきんに恋をした人喰い狼、あかずきんもその正体を知らない振りでは何度も訪れる。そしてとうとう意を決したあかずきんに人喰い狼がとつた行動は…。
みなさんがよくご存知の物語とは、すこし違った“あかずきん”をお楽しみ下さい。

あかずきんちゃんには、とっても大好きなおばあちゃんがいました。おばあちゃんには、あかずきんちゃんを知るはずのない大変な秘密がありました。

そのおばあちゃんというのは、有名な人喰い狼がバケた姿だったのです。

本当のおばあちゃんはもう、とうの昔に、狼のお腹の中に入ってしまっていたのです。

あかずきんちゃんのお父さんは、山に入っては鉄砲を撃って、日々の生活をまかなくなっていました。

あかずきんちゃんもそろそろお嫁入りの年頃です。

お父さんはあかずきんちゃんがとてもかわいくて、毎日山で鉄砲を撃っている時ですら心配をします。

だからでしょう。

お父さんが猟に行く時は、いつでも家にカギをかけていきます。

そんなあかずきんちゃんが唯一、外出できそうなところといえばおばあちゃんのところだけでした。

でもおばあちゃんは、とても遠くの森に住んでいます。

だから、いつでも会うというわけにはいきません。

あかずきんちゃんがおばあちゃんのところへ行きたいときには、お父さんも快く許してくれるように、とても上手にお話をしました。おばあちゃんに会えない時は、仲のいい小鳥たちに頼んで毎日お手紙を出します。

そしてお手紙には、おばあちゃんの大好きなあかずきんちゃんの写

真も一緒に送ります。

あかずきんのことを忘れてしまわないようにと。

そんなある日のこと。

おばあちゃんに会いたくなかったあかずきんちゃんは、いつものようにお父さんにお話をして、出かけることを許されました。

喜んだあかずきんちゃんは、おばあちゃんの大好きな甘いものを、たくさんカゴに詰めて出かけることにしました。

あかずきんちゃんも、もうキレイで立派なおんなです。

いつものことですが、おばあちゃんのところへ行くまでには、いろいろな男たちから声を掛けられます。

そしていつものように、何喰わぬ会話で賢く躲しては先きを急ぐのでした。

しかし、今日のあかずきんちゃんは、どこか様子が違っていました。日頃からそれほど、頻繁には会えないおばあちゃんですが、これからはもつと会えなくなると思ったからです。

ときには優しいお父さんですが、あかずきんちゃんはお父さんがあまり好きではありませんでした。

機嫌が悪いと怒鳴りつけるし、出掛ける時は家にはカギをして、あかずきんちゃんがどこにも行かれないようにするからです。

でも、あかずきんちゃんもまた、なぜかそんなお父さんから離れられません。

最近ではそんなお父さんに、おばあちゃんのところに行くお話をするのが後ろめたくて、説得するのも何だか面倒にもなっていました。おとうさんにも、そんなあかずきんちゃんの気持ち伝わってるよ

うなのです。

だから今日は意を決して、おばあちゃんのところへとやって来たのです。

あかずきんちゃんのお父さんは猟師さんです。

おばあちゃんが狼と知れば、きっと撃ち殺してしまつたことでしょう。そんなことを考えるあかずきんちゃん。

実は、あかずきんちゃんはおばあちゃんが狼だということを、最初から知っていたのでした。

始めて会ったときの狼は、あかずきんちゃんを食べるそぶりも見せず、本当のおばあちゃんのように優しくお話をしてくれました。

いつもひとりで寂しかったあかずきんちゃんは、そのときに狼であるおばあちゃんをとても気にいったのでした。

そうこうしているうちに、森の中にあるおばあちゃんの家に着きました。

いつもドアを開けると、昨日にでも会ったように、おばあちゃんは優しく迎えます。

そんなおばあちゃんひととき過ごして、あかずきんちゃんがいきました。

「おばあちゃん。今日は私お願いがあるの。」

「いつだったか…ふたりで一緒に暮らしましょうと言っただけどやっぱり私は、お父さんを置いてお家を出ることなんて出来ないの。」

あかずきんちゃんは話しを続けます。

「どうしておばあちゃんのお口は大きいの?」

突然にそうあかずきんちゃんに聞かれて、おばあさんは少し戸惑っていました。

しかしおばあちゃんは何も言わず、いつものように優しくあかずきんちゃんの頭を撫でるだけでした。

あかずきんちゃんは、うつとりしながらもコトバを続けます。

「おばあちゃんの大きなお口…、その大きなお口は、私を食べてしまったためにあるんじゃないの？」

「ねえ、おばあちゃん。お願いだから今その大きなお口で私を食べてよ。」

「私、ずっと前から分かっていたの。おばあちゃんがあの有名な人喰い狼だということ。」

「なのにもこうして私のことを…。」

「今まで私にとっても優しくしてくれて、みんなが言っているほど凶暴で危険な狼の姿なんて一度も見せなかった。」

「きつと私がやせっぽちで、食べても美味しくはないからだと思っ
てた。」

「やっぱり私…、お肉も少ないから食べたくならないのよね。」
そう言つて、あかずきんちゃんはおばあちゃんの胸で泣きました。

するとおばあちゃんはやつと口を開きました。

「あかずきんや、この大きなお口はお前が喜ぶお話を、できるだけお前の傍で聞かせるためにあるんだよ。」

「そしてこの大きな耳は、楽しいお前のお話を漏らさず聞くためのもの。」

「それにこんなに私が毛深いのは、寒がりのお前を抱き締めて暖めるためのもの。」

「おまえはとても優しくて、キレイでかわいく賢い子。」

「そんなおまえを始めて目にした時に、私は心に決めたんだ。」

「この大きな口はおまえの前では、一生、決して食べるためには開けまいと。」

「でも、それほどお前が食べてくれというのなら、私は今からお前のお父さんに会ってこよう。」

「そして私の想いを伝え、おまえを私のものにしてしまおう。」

そういつて、ひとりあかずきを家に残したままに、狼は飛びだしていきました。

しかし、あかずきんちゃんがいつまで待っても、狼は戻っては来ません。

それから二日経つてのことでした。

あかずきんちゃんが寂しい思いを抱いたまま、じっとおばあちゃんの家で待っていると、帰らぬあかずきんちゃんを心配したらしく、お父さんがやってきました。

外は雪が降り積もりとても寒い季節です。

やって来たお父さんの手には、あかずきんちゃんが温まるようにと、しっかりと煮込まれた温かい鍋がありました。

お父さんは、寒さに震えているあかずきんちゃんを見て言いました。

「あかずきん、お前が戻らないからとても心配したんだぞ。」

「お前はいつまでもこんなところで、いったいどうしていたんだ。」

「まあいい。」

「今夜も寒い。いまはここでこの鍋でも食べて、明日家に帰ることにしよう。」

お父さんはそう言いながら、夕食の支度を整えました。
あかずきんちゃんはお父さんと一緒にその鍋を食べて、狼のことは忘れることにしました。
そしてあかずきんちゃんが、その鍋の中のお肉を口にした時です。
何故かはわかりませんが、とても懐かしい思いが心に浮かんできたのでした。

ひとりで始めて、このおばあちゃんの家に来て来たときのこと。
人喰い狼らしいおばあちゃんが、とても優しく抱き締めてくれたこと。

そんなおばあちゃんに逢いたくて、逢いたくて、お父さんにどんなウソをつこうかと考えたこと。

逢えなくなるなら一層のこと…。そう思って家から出掛けたこと。
そして、おばあちゃんに化けていた狼さんが、真剣に自分を愛して
いてくれていたこと。

そんないろいろなことを思い浮かべているうち、あかずきんちゃん
の瞳からは、自然に涙がこぼれ落ちて来たのでした。
そしてどこからか、こんな声が聞こえたような気がしました。

「あかずきんや、私はお前を食べるより、お前の血に肉になれた方が嬉しいんだよ。」

「だってそうだろう…」

「これでお前との約束した通り、私はいつまでもお前と一緒にいられるのだから…」と。

(後書き)

BGMにはサラ・マクラクランのアルバム“エクスタシー”を聴いて欲しいですね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9361/>

大人のための異文童話集1 あかずきんと狼

2010年10月22日00時16分発行